

令和 7 年度 事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

公益社団法人 京都デザイン協会

はじめに

2025 年度の主たる事業は、新たな実行委員会のメンバーが中心となり新たな方法を導入し実施した「京都デザイン賞 2025」です。昨今の急激な情報伝達方法の変化を踏まえ、公募方法・審査方法・告知方法を刷新しました。

コロナ以降の人間関係の希薄化解消を目指し、限られた回数と時間ではありましたが、対面でのコミュニケーションに重点を置いた交流会の開催や、関連団体の交流会への参加の結果、新たな会員の獲得や、新たな交流も生まれました。

1. デザインを通じて地域基盤の向上と地域産業の振興を推進する事業（公1）

1-1. 京都デザイン賞 2025 事業

【事業趣旨】

＜京都的発想のデザインを見つけたい＞

かつて京都は京都であり 1200 年以上の長きに亘り都市であり続けました。このような都市は世界的にも稀有で京都だけといっても過言ではありません。しかし、その歴史や伝統に甘んじることなく、つねに最先端を追求し、先進や革新を重んじてきました。だから私たちは、未来を見つめ柔軟な思考と緻密な計画によって生み出されるものを京都的と定義した。そんな京都的発想のデザインを世界中から見つけていきたいと思う。



＜京都的発想とは？＞

革新的であり、計画的であり、柔軟な施行によって生みだされるもの……。京都は、伝統的なイメージで捉えられがちだが、実際には、つねに先進と革新を非常に重視してきた都市である。大規模な疏水、水

力発電所、路面電車など、多くの日本初を生み出してきた。それらは、斬新で緻密な発想により、計画・設計されたものばかりである。しかも、京都の町自体が広大な湿地帯を埋め立て、壮大で柔軟な発想による都市計画によってつくられていた。そんな京都的な発想や思考を大切にしたいデザインを見つけ出すことを京都デザイン賞のコンセプトとした。

【募集部門】

京都デザイン賞2025における募集デザイン分野とカテゴリーは以下のとおり

第1部門 グラフィックデザイン・パッケージデザイン

第2部門 ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3部門 プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

第4部門 課題によるデザイン提案

課題① 伏見の清酒「都鶴」ラベル・パッケージデザイン

課題②「京とうふ藤野」パッケージデザイン

課題③新しい和文具の提案

課題④ 布素材を使った和小物のデザイン

課題⑤ 金属板で作る表札または看板のデザイン

第5部門 映像

① オリジナル作品 ② 生成AIによる作品（新設）

第6部門 建築関連デザイン

① 建築デザイン ② インテリアデザイン ③造園／環境デザイン

【応募資格】

全ての法人・団体・個人（国籍・居住地を問わず国内外において活動される外国人も含む） 年齢制限なし

【審査の根拠となる選考基準】

1. 京都的発想のイメージを創出している
2. 柔軟な思考・独創性がある
3. 使いやすい配慮がなされている
4. 新しい素材、技術に挑戦している
5. 環境への配慮がなされている

＊全てに当てはまらなくても可

【審査プロセス】

作品の審査方法は、

・公益社団法人京都デザイン協会 正会員 特別会員 特別賛助

会員 賛助会員

・ゲスト審査員

応募総数 112点

審査 1次審査 2025年10月1日(水)～10月15日(水)

2次審査 2025年11月1日(土)～11月8日(土)

審査結果 入賞 11点 入選 16点

授賞式・作品講評会 11月22日(土) 14時～17時

京都府庁旧本館・旧議場

出席者 75名

交流会 11月22日(土) 18時30分～20時30分

しょうざんリゾート京都 中華料理「楼蘭」

参加者 55名

1—2. 京都デザイン賞・国内、国際広報支援業

【事業趣旨】

京都デザインのブランドを確立するために、京都デザイン賞で選考された入賞・入選作品ををSNSにより国内外に紹介し、京都デザイン賞ブランドの国際化を促進した。

2. デザインアドバイス事業（公1）

2—1 デザイン相談

- ・京都府庁「観芸祭」「観桜祭」のデザイン制作物アドバイス
- ・京都府リハビリテーションより「産学研修会案内チラシ」アドバイス
- ・京都市立芸術大学同窓会名簿にデザイン協会の広告掲載協力
- ・上京中学校美術部＋西陣織 照明オブジェ制作指導 レクサス 北大路店にて発表展示 アドバイス
- ・京都中央信用金庫「中信学生デザインコンテスト2025」
作品審査会に出席 最優秀賞・優秀賞選出 表彰式に出席
- ・「NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・京都」よりデザイン相談を受ける



3. 伝統工芸デザイン支援事業（公1）

- ・京都市産業技術研究所のユーザーズコミュニティ「創造FORUM 2025」にパネル出展。交流会に参加し参加企業団体との交流をはかった。

- ・「西陣織博2025」五感で巡る織と技 o r i - e x p o 2025西陣織大会の広報協力。

4. 研究・シンポジウム事業（公1）

4—1 人にやさしいデザイン＝ユニバーサルデザインの研究

- ・京都府地域福祉推進課「あったか京都推進会議」
「京都おもいやり駐車場利用制度」の運用についての会議に出席

5. 会員の創作・研究・発表とデザイン向上を図る事業（共1）

5—1 会員展

実施できなかった

5—2 WEBギャラリー展

実施できなかった

6. 会員相互の交流を目的とした事業（共2）

協会会員の目線に立って相互の親睦・交流を行い活性化を図った。

6—1 交流会

- ・京都デザイン賞2025の受賞者、協賛者、会員による交流会
2025年11月22日（土）18時30分～20時30分
しょうざんリゾート京都 中華料理「楼蘭」 参加者 55名
- ・新春交流会 会員、会員の知人、入会希望者の参加で、新製品のプレゼンを含む交流会
2026年2月6日（金）午後6時～8時30分
7 TAPS TAVERN 参加者 21名

6—2 KDAサロン

実施できなかった

6—3 Designers Min Café

実施できなかった

6—4 国際交流事業

Gyonggi Design Association(GDA)会長チョン・サンヒョン氏他4名の来訪。
相互交流の可能性について意見交換を行った。

2026年2月12日 午後2時 於：事務局

※ Gyonggi Design Association：韓国内外のデザイナーによる国際招

待展覧会などを主催する京畿道を中心としたデザイン団体

6—5 他団体との交流事業

- ・京都デザイン関連団体協議会に参加する、(一社) 京都建築設計監理協会、(一社) 京都国際工芸センター、京都伝統産業青年会、(公社) 日本グラフィックデザイナー協会京都地区、(公社) 日本建築家協会近畿支部京都地域会、(公社) 日本図案家協会、(一社) 日本デザイン文化協会京都、NPO 京都伝統工芸情報センター、などとの交流促進
- ・京都商工会議所、京都産業 21、京都芸術文化協会、京都市産業技術研究所との情報交換・交流
- ・京都市産業技術研究所「デザイン業務における生成AI活用に関する実態・ニーズ調査」に協力
- ・京都産業会館創立 60 周年記念式典に出席
- ・京都友禅協同組合主催「第 77 回 京友禅競技大会」の審査協力

7. 京都のデザイナーによるデザイン会議事業（共 3）

7—1 京都デザイン会議

準備不足のため開催せず

8. 広報事業（共 4）

8—1 WEB 掲載による情報発信

<https://www.design.kyoto>

9. 総務事業（共 5）

9—1 過去に KDA で発行した出版物等は、未来に向けたアーカイヴ資産としてウェブサイト保管。

9—2 当協会のウェブサイトが国立国会図書館インターネット資料収集保存事業として国立国会図書館により 2015 年から 11 年間収集保管完了。

2025 年 5 月 20 日保管

<https://warp.ndl.go.jp/waid/22297>



10. 収益事業等（収）

該当する事業なし